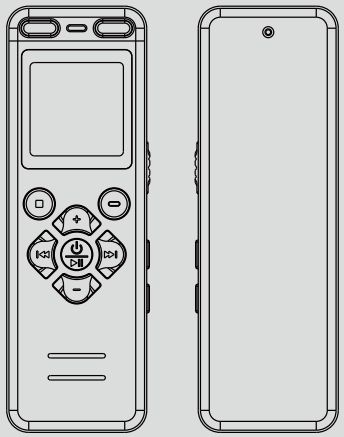


ICレコーダー TIC-VC36
取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
本機は若者からシニアまで幅広い年齢層にお使いいただけるICレコーダー
です。ビジネスやメモ録など、さまざまなシーンでご活用ください。



製品の取扱説明書は、製品改善のため不定
期に更新される場合があります。正確な情
報を確認するためには、QRコードをスキャ
ンして最新の説明書を入手してください。

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Media は Microsoft Corporation の登録商標です。
 - Macintosh、macOS は米国アップル社の商標です。
- その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

01. はじめに

- 本書の内容については、将来予告なしに変更場合があります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万が一不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- 本書の著作権は株式会社万通商事が所有しております。本書の内容の一部または全部を無断で複製することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

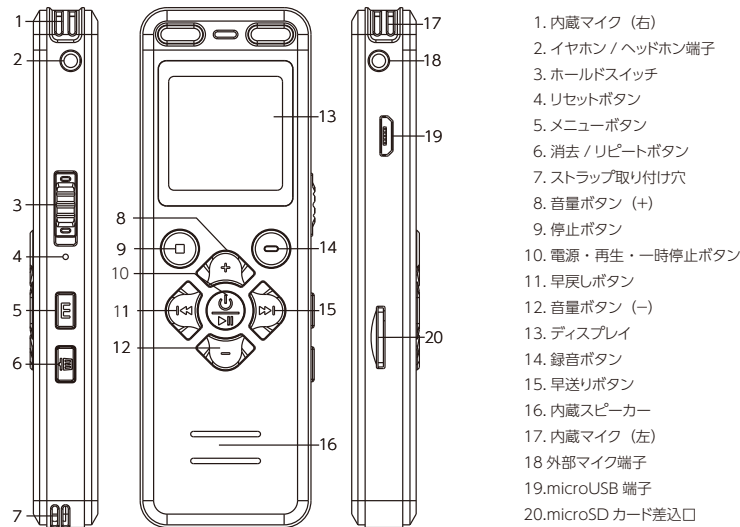
準備

箱の中身を確認する

- ☐ 本体
- ☐ 専用 USB ケーブル
- ☐ 取扱説明書
- ☐ ストラップ

※万一、不足していたり、破損していた場合や同梱の専用 USB ケーブル を紛失、破損の際は、弊社までお問い合わせください。

各部のなまえ

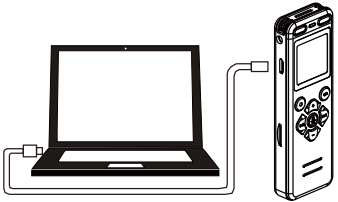


02. 本体の基本操作方法

- ※しばらく操作しない場合は、ディスプレイが省電力になり、バックライトが消灯になります。再度操作する際は任意ボタンでディスプレイを点灯させてから操作してください。
- ※本体側面のホールドボタンがロック状態の場合は、操作ができません。使用する前にホールド機能を解除してください。

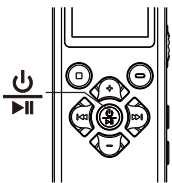
本体を充電する

バッテリー残量が少なくなったら充電してください。
付属のUSBケーブルで本体左側のmicroUSB端子と電源 (パソコン、モバイルバッテリー、USB-ACアダプターなど) を接続して充電します。
画面に出るバッテリーのマークがフルになったら充電完了です。
充電完了時間は約4時間です (5V 500mAの場合)。



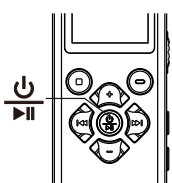
電源オン

「電源」ボタンを長押しします。



電源オフ

「電源」ボタンを長押しします。録音中に押した場合は、録音が停止され録音データが保存されます。

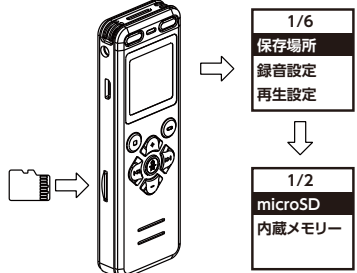


省電力モード

電源が入った状態で5分間、再生や録音などの操作がない場合、省電力モードに移行し電源がオフになります。

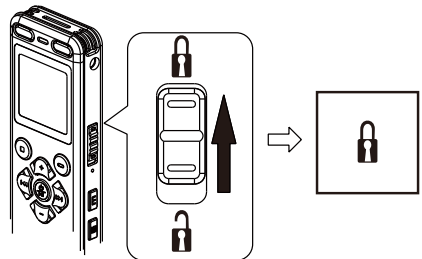
外付け microSD カードを使用する

外付け microSD カードを本体左側のmicroSDカード差込口に向きを開通えないように差し込みます。本体右側の「メニュー」ボタンを押し、「保存場所」→「microSD」を選択すると、録音データが外付けmicroSDカードに保存されます。
※最大128GBのmicroSDカードが使用できます。
※使用前に、パソコンでmicroSDカードをexFAT/FAT32形式にフォーマットしてください。



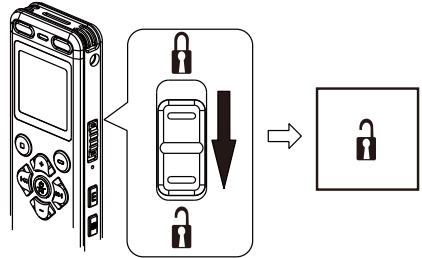
ホールド機能

本体右側のホールドスイッチを上をスライドします。
ロックのマークが表示され、ボタン操作を受け付けなくなります。
録音や再生が中断するなどの誤操作を防ぎます。



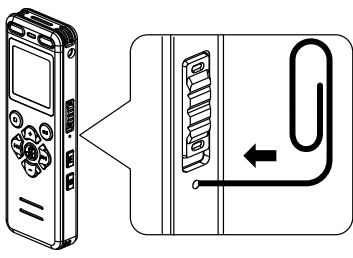
ホールド機能の解除

ホールドスイッチを下にスライドします。



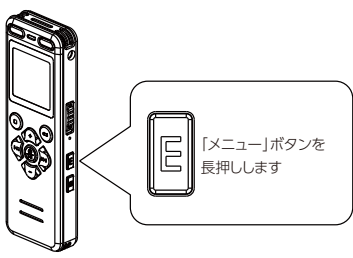
本体をリセットする

万が一、本体がフリーズした場合はリセットをしてください。
本体右側のリセットボタンを細いピンなどで押すと、本体が再起動されます。



再生するインデックスを切り替える

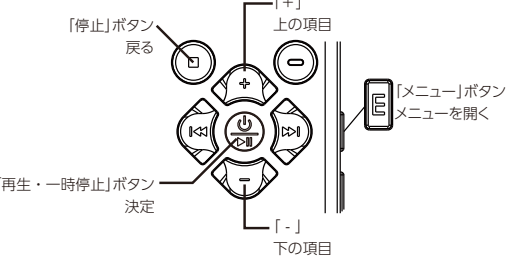
再生モードの状態です「メニュー」ボタンを長押しします。
長押しを繰り返すことで、再生インデックスの切り替えができます。
1. 録音データインデックス
2. メディアデータインデックス



03. 設定メニューの操作方法

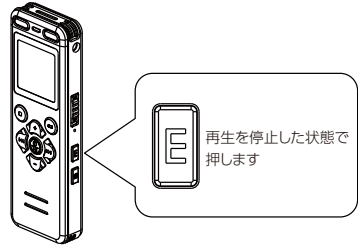
設定メニューを開く：再生モードの状態です本体右側の「メニュー」ボタンを押す

設定する項目を選ぶ：「+」「-」ボタンで上下に動かす
決定する：「再生・一時停止」ボタンを押す
戻る：「停止」ボタンを押す



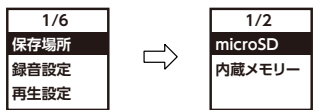
04. 各種設定方法

本体右側の「メニュー」ボタンを押して設定メニューを開き、各種設定を行います。



保存場所・再生ファイルの場所の選択

設定メニューから「保存場所」を選択します。
「microSD」または「内蔵メモリ」を選択します。
microSD: 外付けmicroSDカードに保存したり、カード内のデータを再生します。
内蔵メモリ: 本体の内蔵メモリに保存したり、メモリ内のデータを再生します。

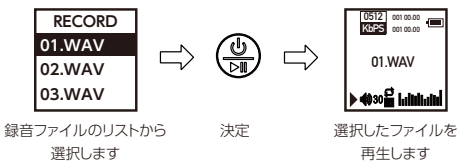


録音に関する設定

設定メニューから「録音設定」を選択します。

録音フォルダ

録音フォルダに保存されているファイルのリストが表示されます。
これから再生したいファイルを選択できます。



録音形式

[WAV]、[MP3]の2種類の形式で録音、保存できます。
WAV: 高音質で録音したいときにおすすめです。
MP3: ファイルの容量を抑えて録音したいときにおすすめです。

録音音質

音質を調整し、ファイルの容量をコントロールできます。

録音形式が「WAV」の場合

- ・[256kbps]: ファイルが軽い
- ・[512kbps]: 標準
- ・[1536kbps]: やや重い
- ・[3072kbps]: 重い
- ※3072kbpsで録音したファイルは本体では再生できません。再生するにはパソコン/スマートフォンのご使用ください。

録音形式が「MP3」の場合

- ・[32kbps]: ファイルが極めて軽い
- ・[64kbps]: とても軽い
- ・[128kbps]: 軽い

VOSモード

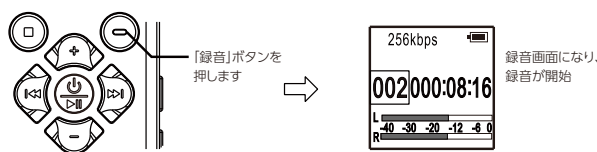
録音中に無音状態になると、自動的に録音を一時停止します。
音を感じると再び録音が始まります。
不要な無音を切り取り、録音時間を短縮するのに便利です。

[VOS オン/オフ]: 音コントロールモードのオン/オフを切り替えます。
[VOSレベル]: 音声の感度を調節します。音声をうまく感知していない場合は、感度を高く設定してください。
[LEVEL1 (高感度)] ~ [LEVEL5 (低感度)]

05. 録音

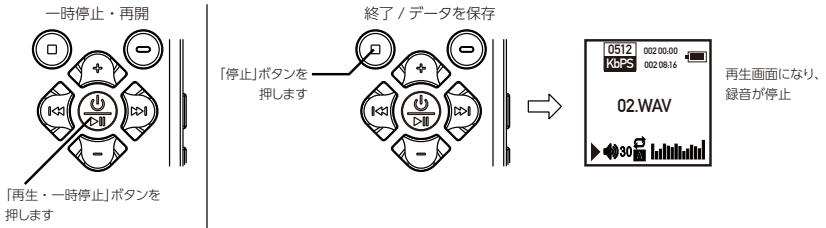
録音する

電源オンの状態から録音する「録音」ボタンを押す
電源オフの状態から録音する「録音」ボタンを長押しする



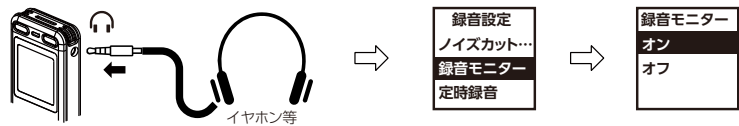
録音を停止する

録音を一時停止、再開する「再生・一時停止」ボタンを押す
録音を終了、データを保存する「停止」ボタンを押す



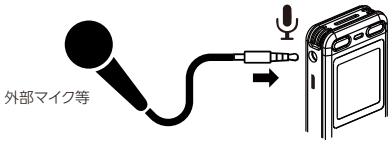
録音中の音声を聞く

録音前に「録音モニター」をオンにしておきます。
イヤホンまたはヘッドホン本体右側のイヤホン/ヘッドホン端子差し込み、録音を開始すると、録音中の音声を聞くことができます。
※イヤホン、ヘッドホンは同封されていません。市販のものをご使用ください。
※ハウリングを起こしますので、録音中はイヤホン、ヘッドホンをマイクに近づけないでください。
※録音の詳細設定は「04. 各種設定方法」の「録音に関する設定」を参照ください。



マイクなどの外部機器と接続して録音する

本体左側の外部マイク端子にマイクなどの外部機器を接続し、音声を録音できます。
※録音中は外部機器を抜き差ししないでください。
※事前に試し録りをして外部機器の出力レベルを調整しておいてください。
※外部マイクを接続すると、内蔵マイクからは録音されません。



ご注意ください

- ・録音を失敗しないよう、事前に試し録りしておくことをおすすめします。
- ・録音の頭切れを防ぐため、LED ランプの点灯、ディスプレイの録音表示を確認してから録音してください。
- ・容量がいっぱいになるとそれ以上録音することができません。不要なファイルを消去してから録音してください。

再生速度の設定

設定メニューから「変速再生」を選択します。
「+」ボタン、「-」ボタンを使って「-8 (低速)」~「+8 (高速)」から設定してください。
※電源を切っても変更した再生速度はそのまま保持されます。
※通常の再生速度に戻すには、「+0」を選択してください。

本体設定

設定メニューから「本体設定」を選択します。
言語やパスワードなどの本体の設定を行います。

言語

[English]、[日本語] などから、本体で表示する言語を選択します。

日付と時間

「時刻設定」、「時刻表示設定」: 本体の時刻表記形式を「12時間」または「24時間」に設定します。
「時刻設定」: 本体の時刻を設定します。
HH:時 MM:分 AM/PM:午前/午後 (12時間制のみ)
「日付設定」、「日付表示設定」: 本体の日付表記形式を設定します。
YY/MM/DD: 年/月/日
DD/MM/YY: 日/月/年
MM/DD/YY: 月/日/年
「日付設定」: 本体の時刻を設定します。
YY:年 MM:月 DD:日

パスワード設定

本体の起動時、またはパソコン接続時に入力するパスワードを設定します。

「パスワード オン/オフ」: 「オン」または「オフ」を選択し、パスワードを有効にするかどうかを設定します。

「パスワード設定」: [00~20][00~20][00~20]の範囲でパスワードを設定できます。

※新しくパスワードを変更する場合は、最初に現在のパスワードを入力してください。
※設定したパスワードは忘れないよう大切に保管してください。

パスワードを忘れた場合は、
パスワード入力画面で
18 18 18

を入力してから「停止」ボタンを3秒間長押しして
パスワード設定をリセットできます

コントラスト

ディスプレイのコントラストを調節します。
[01 (明るい)] ~ [30 (暗い)] から選択してください。

ストレージ容量

選択されている保存場所 (外付けmicroSDカード/内蔵メモリ) の残容量と総容量を確認できます。

フォーマット

保存されているファイルをフォーマット (全消去) する機能です。
「内蔵メモリをフォーマット」、「microSDをフォーマット」から消去する保存場所を選択します。
※フォーマットするとすべての録音ファイルが消去されるので注意してください。
※フォーマットの前に重要なファイルは他機器に転送するなどしてください。

初期化

時刻と日付以外のすべての設定を初期化します。設定が原因で動作に不具合が生じた場合に使用してください。
「はい」または「いいえ」を選択してください。

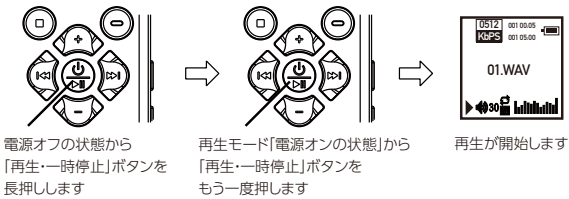
ファイルの消去

設定メニューから「ファイル消去」を選択します。
「ファイル1件消去」: 現在選択しているファイルを消去します。
「全て消去」: 現在選択しているインデックスのすべてのファイルを消去します。

06. 再生

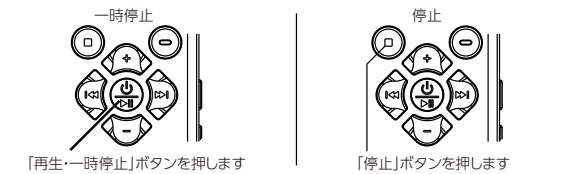
ファイルを再生する

- 再生モードにする:電源オフの状態から「再生・一時停止」ボタンを長押しする
- 現在選択しているファイルを再生:再生モードの状態 で「再生・一時停止」ボタンを押す



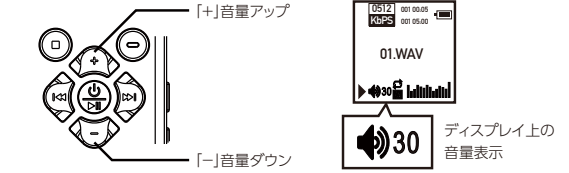
再生を停止する

- 再生を一時停止する:再生中に「再生・一時停止」ボタンを押す
電源を切っても一時停止位置は記憶されます。
- 再生を停止する:再生中または一時停止中に「停止」ボタンを押す



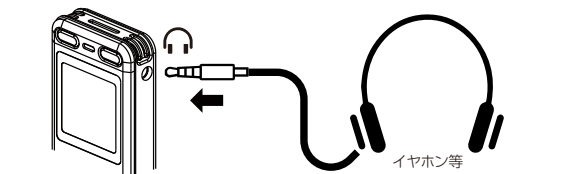
音量を調節する

- 再生モードの状態 で「+」または「-」ボタンを押すと、「00～30」の範囲で音量を調節できます。



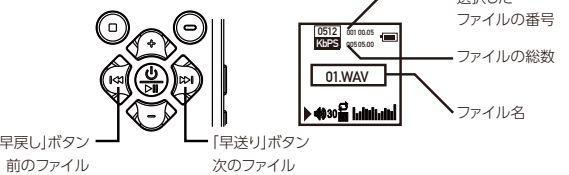
イヤホンなどの外部機器で再生する

- 本体右側のイヤホン/ヘッドホン端子にイヤホンなどの外部機器を接続し、音声を再生できます。
- 事前には音量を「00」にしてから接続し、その後音量を調節してください。
- ※再生中は外部機器を抜き差ししないでください。
- ※音量を上げすぎると、聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。
- ※外部機器を接続すると、本体のスピーカーからは音は出力されません。



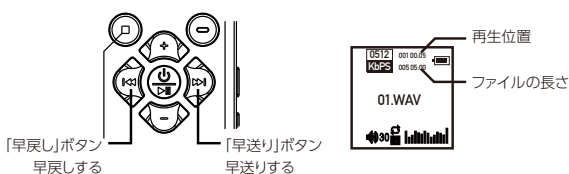
再生するファイルを選ぶ

- 再生モードの状態 で「早送り」ボタン、「早戻し」ボタンを押して、再生するファイルを選択してください。



早送り・早戻しする

- 早送りする:再生中に「早送り」ボタンを押し続ける
早戻しする:再生中に「早戻し」ボタンを押し続ける
ボタンから手を離すと、その位置から再生します。

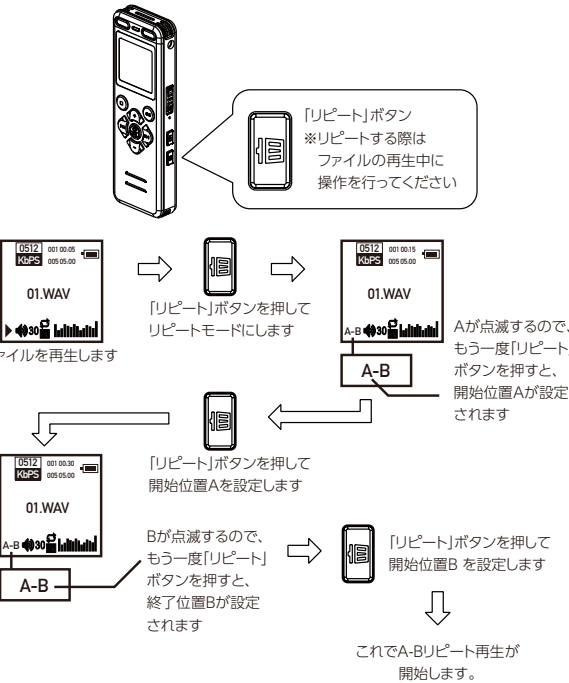


繰り返し再生する

- 再生設定から「1件リピート」、「全てリピート」、「ランダム再生」の3種類が選べます。
※詳細は「04.各種設定方法」の「再生モードの設定」を参照ください。

A-B リピート再生をする

- 再生中のファイルの一部分を繰り返し再生できます。
- A-Bリピートしたいファイルを選択し、再生する
 - 本体右側の「リピート」ボタンを1回押してリピートモードにします。
 - ディスプレイにAが点滅するので、リピートを開始したい位置でもう一度「リピート」ボタンを押します。
 - Bが点滅するので、リピートを終了したい位置でもう一度「リピート」ボタンを押します。
 - これでリピート部分が選択できたので、A-Bリピート再生が開始します。



A-B リピート再生を解除する

- リピートを解除して再生を続ける:A-Bリピート再生中に「リピート」ボタンを押す
リピートを解除して一時停止する:A-Bリピート再生中に「再生・一時停止」ボタンを押す
リピートを解除して再生を停止する:A-Bリピート再生中に「停止」ボタンを押す

再生速度を変更する

- 変速再生設定から「-8(低速度)」～「+8(高速度)」の範囲で、再生速度を変更できます。
※詳細は「04.各種設定方法」の「再生速度の設定」を参照ください。

07. ファイルの消去

ファイルを消去する

- あらかじめ、消去したいファイルまたはインデックスを選択し、再生を停止しておいてから続きの操作をしてください。

1件のファイルを消去する

- 本体右側の「消去」ボタンを押す
- 「+」「-」ボタンで「ファイル1件消去」を選択
- 「再生・一時停止」ボタンで決定する
- 「はい」を選択
- 「再生・一時停止」ボタンを押すとファイルが消去されます

選択したインデックス内のすべてのファイルを消去する

- 「消去」ボタンを押す
- 「+」「-」ボタンで「全て消去」を選択
- 「再生・一時停止」ボタンで決定する
- 「はい」を選択
- 「再生・一時停止」ボタンを押すとインデックス内のすべてのファイルが消去されます

フォーマット (全ファイル消去)

- 設定メニューから「+」「-」ボタンで「本体設定」を選択
- 「フォーマット」を選択
- 「再生・一時停止」ボタンで決定
- 内蔵メモリーをフォーマットまたは「microSDをフォーマット」を選択
- 「再生・一時停止」ボタンを押すと選択した保存場所のすべてのファイルが消去されます。

- ※フォーマットするとすべての録音ファイルが消去されるので注意してください。
※フォーマットの前に重要なファイルは他機器に転送するなどしてください。

ご注意ください

- 本製品で認識できないファイルは消去できません。パソコンに接続して消去してください。
- 消去が完了するまで数十秒かかる場合があります。処理中は操作しないでください。
- 消去中にバッテリーが切れないように、バッテリー残量が少ない場合は充電してから消去してください。
- 消去やフォーマットを行っても、メモリーに記録したデータは完全には消去されません。個人情報流出を防ぐため、譲渡や廃棄の際は、フォーマット後、残り時間が無くなるまで無音で録音するなどしてください。

08. 本体の初期化

初期化する

- 設定メニューから「+」「-」ボタンで「本体設定」を選択
- 「初期化」を選択
- 「再生・一時停止」ボタンで決定
- 「はい」を選択
- 「再生・一時停止」ボタンを押すと初期化が実行されます

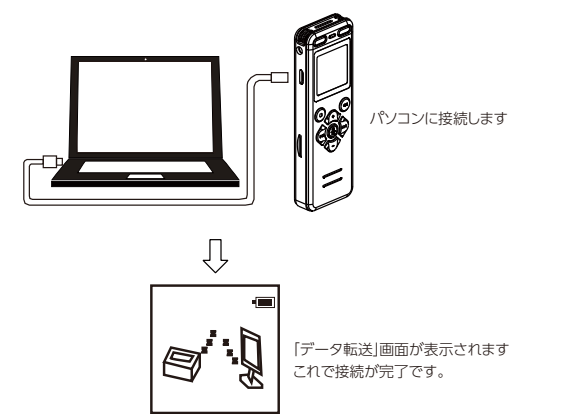
ご注意ください

- パソコンからの初期化は絶対にしないでください。
- 初期化をすると、日付と時刻以外の設定がすべてリセットされます。再度使用する前に、もう一度各種設定を行ってください。
- 日付と時刻の設定は、初期化前の情報が保持されます。
- 初期化が完了するまで数十秒かかる場合があります。処理中は操作しないでください。
- 初期化中にバッテリーが切れないように、バッテリー残量が少ない場合は充電してから初期化してください。
- 初期化を行っても、メモリーに記録したデータは完全には消去されません。個人情報流出を防ぐため、譲渡や廃棄の際は、フォーマット後、残り時間が無くなるまで無音で録音するなどしてください。

09. パソコンへの接続

パソコンに接続する

- USBケーブルを本体左側のmicroUSB端子とパソコンのUSB端子に差し込む(接続すると再生/録音が停止し、録音データが保存されます)
- 接続が完了すると、ディスプレイに「データ転送」画面が表示されます



パソコンでの活用について

- パソコンの動作環境
本機で録音したファイルをUSB 接続でパソコンに保存する際の動作環境です。

- Windows:
Windows 10 / Windows 8 / Windows 7 / Windows Vista / Windows XP.
対応パソコン:
1 つ以上空きのあるUSB ポートを装備したWindows 対応パソコン
・動作環境を満たしていても、アップグレードしたもの、マルチブート環境、自作パソコン
との互換機については動作保証外とさせていただきます。

- macOS:
macOS標準インストール
対応パソコン:
1つ以上空きのあるUSB ポートを装備したApple Macintoshシリーズパソコン

本機をパソコンに接続して扱う場合の注意事項

- 本機からファイルをダウンロードしたり本機にファイルをアップロードする時、ファイルの転送中は決してUSB 接続を外さないでください。
- パソコンで本機ディスクをフォーマットする場合は、exFAT/FAT32形式にフォーマットしてください。
- Windows またはMacintosh のファイル管理画面から、本機に保存されているフォルダやファイルに対して移動や名前の変更などの操作を行うと、ファイルの順番が変わったり、ファイルを確認できなくなることがあります。
- パソコン上の操作で本機ドライブの属性をリードオンリー(読み取り専用)に設定しても、本機ではデータの操作ができますのでご注意ください。

ヒント

- Windows の場合、[コンピューター]を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。
- Macintosh の場合、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。
- パソコンのUSB ポートについては、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。

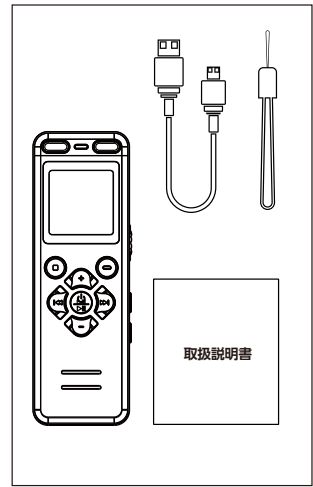
ご注意

- USB 端子は奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
- USB ハブを経由して本機を接続すると、動作が不安定になることがあります。この場合、USB ハブを使用しないでください。
- USB 接続ケーブルは必ず専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用の場合、動作の保証はできません。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。
- データ転送中は、絶対にUSB接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

10. 製品仕様

型番: TIC-V36

- 内蔵メモリー : 8GB
- メモリーカード : 最大128GB(exFAT/FAT32)のmicroSDカードをサポート
- 録音形式 : WAV/MP3
- WAV録音ビットレート : 3072/1536/512/256kbps
- MP3録音ビットレート : 128/64/32kbps
- 再生形式 : WAV/MP3/WMA
FLAC/APE/OGG
- インターフェイス : USB2.0
- 対応OS : Windows/macOS等
- ディスプレイ : LCDディスプレイ
- 給電方式 : 充電式
- バッテリー容量 : 800mAh
- 充電時間 : 約4時間
- 定格入力 : 5V/500mA
- 動作温度 : 0～45℃
- 本体サイズ : 97×32×13mm
- 本体質量 : 67g



- ※ZZZZZZZZZZZ 設計数値であり本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

11. 保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理/交換いたします。
- 次のような場合は保証期間内でも保証対象外になります。
 - 異常電圧による故障及び損傷。
 - 故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - 故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - 譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
- お客様ご自身による改造または修理があったと弊社が判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしません。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 弊社は、いかなる場合でもご購入者様の逸失利益、弁護士費用、その他の損害を賠償しないものとします。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておられません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。

保 証 書

型番 : TIC-V36		保証期間:本体6ヶ月間	
お名前	ふりがな	様	
ご住所	〒	電話番号	-
お買い上げ年月日	年 月 日	注文番号	
○お問い合わせ先			
株式会社万通商事			
住 所:	〒273-0011千葉県船橋市湊町3-11-7		
お問合せ電話番号:	0120-090-627		
受 付 時 間:	平日:10時～19時/祝日:10時～17時 (土・日・年末年始・弊社休業日を除く)		
ホ ー ム ペ ー ジ:	www.tokaiz.jp		
本書は日本国内においてのみ有効です。 THIS WARRANTY IS VALID ONLY IN JAPAN.			

※本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。

警告

- 可燃性ガス、爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。引火、爆発の原因となります。
- 分解、修理、改造をしないでください。感電、けがをされるおそれがあります。
- 車両(自転車、バイク、車など)の運転をしながら操作しないでください。交通事故などの原因となります。
- 本機を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。幼児、子供の近くで使用するときは細心の注意を払い、不意に本機から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができず、加えて以下のような事故のおそれがあります。例えば、誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する、操作を誤りけがや感電事故などを起こす。
- 異臭、異常音、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたときはご使用を中止してください。火災やけどの原因となる場合があります。可燃物のそばを避け、弊社までご連絡ください。
- 水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、ご使用を中止してください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。
- 航空機内や病院など使用に制限のある場所では使用をおやめになるか、その場所の指示に従ってください。
- 本機をストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意してください。
- 操作前から、音量を上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。
- 火気のある場所に本製品を置かないでください。
- 火の中への投入、加熱、分解をしないでください。火災、破裂、発火、発熱の原因となります。
- 電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。
- 直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置をしないでください。発熱、破裂などにより、火災、やけど、けがの原因となります。
- 濡れた手で触ったり持ったりしないでください。感電や故障の原因となります。

となります。

- 水や海水などに付いたり、本機器を濡らさないでください。
- 液漏れ、変色、変形、その他の異常が発生した場合は、使用を中止してください。

注意

- ・本製品に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。
- ・長期間使用しないときは、採用使用時は充電してください。
- ・直射日光下の夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- ・湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- ・水気がついていたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取ってください。特に塩分は禁物です。
- ・テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- ・砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障になることがあります。
- ・強い振動やショックを与えないでください。
- ・水気の多い場所で使用しないでください。
- ・磁気カード(銀行のキャッシュカードなど)をスピーカーやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じることがあります。

- ・録音中や再生中に ICレコーダーを電灯・蛍光灯・携帯電話などに近づけないでください。ノイズが入ることがあります。

<データ消失に関する注意事項>

- ・内蔵メモリの記録内容は、誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消えることがあります。
- ・また、内蔵メモリは長時間の保存や繰り返し使用するうちに書き込みや読み出し、消去などができなくなることがあります。
- ・大切な記録内容はパソコンのハードディスクや他の記録メディアにバックアップし、保存されることをおすすめします。
- ・記録されたデータの破壊・消失による損害および逸失利益などに関しては、その内容や原因に関わらず、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

<録音したファイルに関する注意事項>

- ・本機やパソコンの故障により、録音したファイルが消去されたり再生不能となった場合でも、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

<本機の譲渡や廃棄に関する注意事項>

- ・初期化や消去を行っても、ファイルの管理情報が更新されるだけで内蔵メモリに記録したデータは完全には消去されません。譲渡または廃棄の際には、初期化とフォーマットしたあと、残り時間がなくなるまで無音録音するなどして、個人情報の流出を防いでください。

<電波障害自主規制について>

- この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

<お手入れ>

- 本機が汚れたときは、柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を濡して、固く絞ってから汚れを拭き取り、そのあと、乾いた布でやさしく拭いてください。
- ディスプレイが汚れたときは、柔らかい布でやさしく拭いてください。

<お手入れご注意>

- ペンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾は使わないでください。